

備前市事務事業評価表

事務事業名	治山事業	コード	04-01-02-02
		担当課・係	農林水産課・耕地治山係
		担当者	岩本 英幸
		電話	0869-64-1830
事業実施期間			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり	
	小項目(施策)	林業	

事業について	
目的 (何のために)	森林の維持造成を通じて、山地に起因する災害から市民の生命・財産を保全し、また、水源かん養、生活環境の保全・形成を図る
対象 (誰・何を対象に)	森林所有者、山地近隣住民
内容	森林の整備

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
単独事業	0 箇所	3 箇所	
林地災害復旧事業	0 箇所	1 箇所	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	間接補助金等		直接事業費	7,014	間接補助金等	2,232
	人件費	715	委託費負担		人件費	5,970	委託費負担	
	合計	715	市債	715	合計	12,984	市債	700

必要人員	0.10 人	0.90 人
結果指標名	単独事業	単独事業
結果指標量	0	3
単位	箇所	箇所
対前年比	-	0.00%
活動にかかるコスト	715,000 円	7,129,000 円
単位当たりコスト	715,000 円	2,376,333 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	予定箇所の工事を早期に完成させることにより、山地に起因して発生する災害を未然に防止する。		
成果指標名	年度内完成率	式又は説明	年度内完成箇所数 ÷ 年度計画箇所数
	17年度	18年度	
成果指標量	100	100	
対前年比	-	100.00%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	各年ごと

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 森林法、地すべり等防止法)	妥当性評価<A~E>	C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	近年の台風及び集中豪雨等により、治山事業に対する重要性の高まりと共に、市民からのニーズが高まっていることから、今後も緊急性、費用対効果等の検討を行い、引き続き、工事及び修繕を継続していく必要がある。	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>	C
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	事業の実施に際しては、引き続き実施箇所の確認、見直しを行い、最適な手段を検討し、コストの縮減と作業効率の向上に努める。	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>	C
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	前年度からの繰越分を含み、年度内に全ての工事が完了したため、今年度の成果指標の目標値を達成した。引き続き工事の早期発注を行い、目的の早期達成を図る。		

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	前年度と同様に、新規の事業は困難であるため、治山施設の維持補修等を主体とし、継続して事業を実施していく。
目標値	結果指標量 3	結果指標量	1
	成果指標量 100		

総合評価	近年の台風、集中豪雨等により、治山事業への重要性と共に市民からのニーズも高まっていることから、今後も事業の実施に当たっては、事業の実施箇所の確認、選定等の検討を十分に行い、事業を継続して行っていきます。	評価区分<A~E>	B
------	---	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	緊急性、費用対効果等の検討による事業箇所の精査、選定	毎年度	投資効果の向上
効率性	事業の実施時に現地の確認、工法等の検討	毎年度	コスト縮減
有効性	工事の早期発注	毎年度	目的の早期達成